がん登録の手引き (新任者向け実践編)

福岡県がん登録室 2023.5

※本手引き及び参考資料は、宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室作成 のものを福岡県内の医療機関様向けに改編したものです

«はじめに»

このたび、新任者向けの手引きの続編として、全国がん登録の届出票作成時から提出 に役立てていただくようこの手引きを作成しました。

国立がん研究センター発行の「全国がん登録届出マニュアル」(以下「届出マニュアル」とする)だけでは理解することが難しい内容の補足や届出票作成・提出に役立つ情報を掲載していますので、届出マニュアルと併せてご活用ください。

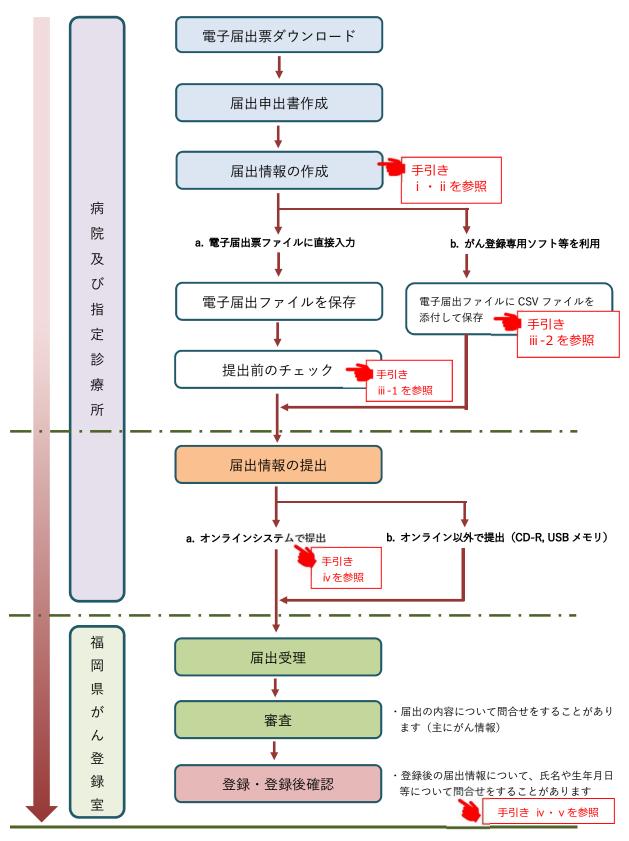
この手引きの構成は以下のとおりですので、右の図を参考にご使用ください。

目次

i	届出票作成例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
	i -1.電子届出票 作成例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
	パターン 1: 自施設診断なし・自施設治療なし・・・・・・・・・・2
	パターン 2: 自施設診断なし・自施設治療あり・・・・・・・・・・・3
	パターン 3: 自施設診断あり・自施設治療なし・・・・・・・・・・・・
	パターン 4: 自施設診断あり・自施設治療あり・・・・・・・・・・・5
	パターン5:白血病・多発性骨髄腫(C42.0、C42.1)等の場合・・・・6
ii	届出票作成時の補足資料・・・・・・・・・・・・・・・ 7
	ii -1.届出項目の注意事項・・・・・・・・・・・・・・ 7
	ii -2.臓器の側性コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
	ii -3.病理診断と進展度に関する詳細資料・・・・・・・・・・・・・11
iii	届出票作成後のチェック・・・・・・・・・・・・・・・・13
	iii-1.電子届出票チェックシート【電】・・・・・・・・・・・・13
	iii-2.届出形式の CSV ファイル作成方法【ソ】・・・・・・・・・・15
iv	届出エラーの対応・・・・・・・・・・・・・・・・・19
	iv-1.オンラインシステムへのアップロード・エラー確認手順【オ】・・・・19
	iv-2.届出工ラー一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
٧	福岡県がん登録室からの問合せ・・・・・・・・・・・・・33
	v-1.届出情報のチェック項目一覧・・・・・・・・・・・・・・33
vi	各種ご案内・問合せ先・・・・・・・・・・・・・・・・・33

- 【電】電子届出票へ直接入力する施設向け
- 【ソ】がん登録ソフト等(Hos-CanR Lite 以外)に情報を入力する施設向け
- 【オ】オンラインシステムで提出する施設向け

全国がん登録届出申出書の作成から届出までの流れ



・電子届出ファイルは、ダウンロードしてから 60 日間の有効期限が設定されており、有効期限を過ぎると一切、編集ができなくなります。有効期限が過ぎてから修正が必要な場合は、ダウンロードしなおしとなりますので、ご注意ください。(有効期限を過ぎても、提出することは可能です)

i 届出票作成例

i-1.電子届出票 作成例

■概要

届出票作成の参考として、5つのパターン別に症例を例示したものです。

■使い方

以下の5つのパターンから、自施設で届け出る症例に適したものについて、電子届 出票作成の参考にしてください。

パターン1:自施設診断なし・自施設治療なし

〔具体例〕

- ・精神科単科のみの施設や、緩和ケア病棟で経過観察しか行わない。
- ・初回治療が他施設で終了して自施設でフォローアップを実施している。
- ・他施設で経過観察を開始後、経過観察の継続目的で自施設を受診。

パターン2:自施設診断なし・自施設治療あり

〔具体例〕

- ・他施設で診断を行い、自施設での治療を目的に来院した。
- ・他施設で診断を行い、治療は選択せず経過観察を自施設で開始した。

パターン3:自施設診断あり・自施設治療なし

〔具体例〕

- ・自施設で診断を行い、その後のことについては他施設に依頼した。
- ・自施設で診断を行い、初回治療を行う予定だったが、患者が来院しなくなった。

パターン4:自施設診断あり・自施設治療あり

〔具体例〕

- ・自施設で診断から初回治療まですべて実施した。
- ・自施設で診断し、治療は選択せず経過観察とした。

パターン5:白血病・多発性骨髄腫(C42.0、C42.1)

〔具体例〕

・白血病や多発性骨髄腫など、血液や骨髄のがんの診療をした。

パターン1:自施設診断なし・自施設治療なし

〔具体例〕

- ・精神科単科のみの施設や、緩和ケア病棟で(初回治療後の)経過観察しか行わない。
- ・初回治療が他施設で終了して自施設でフォローアップを実施している。
- ・他施設で経過観察を開始後、経過観察の継続目的で自施設を受診。

〔経過例〕

他施設で大腸がんの診断・治療を行い、経過良好にて退院。

がんと診断される以前から、自施設にて高血圧の治療を行っており、その後の経過観察は 自施設を希望された。

2022年5月11日 自施設初診。経過観察開始。



…パターン1で必ず選択する項目

腫	8側	性	□ 1.右 □ 2.左 □ 3.両側 ☑ 7.側性なし □ 9.不明
瘍	(A)	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門
の種	9原	発部位 詳細分類	· その他の結腸 C18.9
類	⑩病	理診断 組織型・性状	悪性腫瘍 ■ 8000/3
	⑪診	断施設	1. 自施設診断 2. 他施設診断
			1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
			2. 自施設で初回治療を開始
	12治	療施設	3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
診断			· ✓ 4. 他施設で初回治療を終了後に、目施設に受診 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
情			■ 8. その他
報	13診	断根拠	1. 原発巣の組織診
	(4)診断日		
	900	#IH	4. 平 5. 分 2022 年 5 月 11 日 日 日 日 日 日 日 日
	15発	見経緯	□ 4 副栓発目 □ 9 その他
			① 3. 7. 6 7 (20) (20) (20) (20) (3. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.
進	16進	展度・治療前	□ 440. 遠隔転移 □ 777. 該当せず □ 499. 不明
行度	@\#	R. 连. 往 ※ 点 理	400. 上皮内 410. 限局 420. 領域リンパ節転移 430. 隣接脈器浸潤
	亚	展度・術後病理学的	■ 440. 遠隔転移 🔽 660. 手術なし・術前治療後 🔲 777. 該当せず 🔲 499. 不明
	観	⑱外科的	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	血的	19鏡視下	□ 1. 自施設で施行 □ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	治	⑩内視鏡的	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
初回	療	②観血的治療の範囲	□ 1.腫瘍遺残なし □ 4.腫瘍遺残あり □ 6.観血的治療なし □ 白施設で治療を行っていない場合 は、②性展療、体後序理学的、②
治療	そ	迎放射線療法	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
7京	の	③化学療法	□ 1. 自施設で施行 ② 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	他治	绝内分泌療法	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	療	③その他治療	□ 1. 自施設で施行 🗸 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明

パターン2:自施設診断なし・自施設治療あり

〔具体例〕

- ・他施設で診断を行い、自施設に治療を目的に来院した
- ・他施設で診断を行い、治療は選択せず経過観察を自施設で開始した

〔経過例〕

2022年3月11日 自施設初診。他施設からの胃体部癌の治療目的で紹介。

2022 年 3 月 17 日 胃切除術施行

手術後病理:管状腺癌、sm (粘膜下層にまで浸潤)、リンパ節転移 8/32(32個のリンパ節を摘出し、うち8個にがんの転移を確認)、 断端陰性(切除した胃の断端にがんが確認されなかった)

2022 年 3 月 27 日 経過良好で退院

--…パターン 2 で必ず選択する項目

暖	18側性		□ 1.右 □ 2.左 □ 3.両側 ✓ 7.側性なし □ 9.不明
瘍	○ F≈+#4	大分類	胃、小腸
の種	⑨原発部位	詳細分類	胃体部
類	⑩病理診断	組織型・性状	管状腺癌 8211/3
	⑪診断施設		□ 1. 自施設診断 ☑ 2. 他施設診断
	①治療施設		□ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその 他施設で診断され、自施設に来院 (「診断施設」の選択ルールに基づく) □ 3. 他施設で初回治療を開始 (「診断施設」の選択ルールに基づく)
診断情			□ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 □ 8. その他 □診断施設「2」を選択した場合、そのが
報	⑬診断根拠		✓ 1. 原発巣の組織診✓ 2. 転移巣の組織診✓ 3. 細 んで初めて自施設を受診した日が診断日✓ 4. 部位特異的腫瘍マーカー✓ 5. 臨床検査✓ 6. 臨
	⑭診断日		☑ 0. 西暦 4. 平 5. 令 2022 年 3 月 11 日
	⑬発見経緯		1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例
進行	⑥進展度・治療前		□ 400. 上皮内 □ 410. 限局 □ 420. 領域リンパ節転移 □ 430. 隣接臓器浸潤 □ 440. 遠隔転移 □ 777. 該当せず □ 499. 不明
度	①進展度・術後病理学的		400. 上皮内 410. 限局 420. 領域リンパ節転移 430. 隣接臓器浸潤 440. 遠隔転移 660. 手術なし・術前治療後 777. 該当せず 499. 不明
	18外和	斗的	☑ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし ☑ 9. 施行の有無不明
	血り鏡衫	見下	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	治 ②内社	見鏡的	1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし 9. 施行の有無不明
初回	療迎観』	血的治療の範囲	☑ 1. 腫瘍遺残なし 4. 腫瘍遺残あり 6. 観血的治療なし した初回治療の内容についての
治療	そ②放射	村線療法	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明 み、「1」を選択
		学療法	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	治 ⑭内ź	分泌療法	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	療 ②5その	D他治療	1. 自施設で施行。 2. 自施設で施行なし 9. 施行の有無不明

パターン3:自施設診断あり・自施設治療なし

〔具体例〕

- ・自施設で診断を行い、その後のことは他施設に依頼した
- ・自施設で診断を行い、初回治療を行う予定だったが、患者が来院しなくなった

〔経過例〕

2022年2月13日 下血、肛門部痛があり自施設を受診

2022 年 2 月 17 日 自施設で生検(組織診)と CT を行い直腸癌(腺癌)と診断 自施設では治療をせず他施設に紹介



…パターン3で必ず選択する項目

腫	8側	性	1.右 2.左 3.両側 7.側性なし 9.不明		
瘍		大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門	\	
の種	9原	「発部位 詳細分類	直腸	√ C20.9	
類	⑩病	理診断 組織型・性状	腺癌	₹ 8140/3	
	⑪診	断施設	✓ 1. 自施設診断 2. 他施設診断	_	
			✓ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明		
			2. 自施設で初回治療を開始	自施設で診断したときに	は、検査結果が判
	12治	療施設	3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続	明した日ではなく、検査	査施行日を診断日
診断			4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診	とする	L+4 -
情報		 1	■ 8. その他✓ 1. 原発巣の組織診✓ 2. 転移巣の組織診✓ 3. 細胞!	複数の検査が行われたる 部の「⑭診断日の考え方	
ŦIX	13診	断根拠	1.	の場合)を参照」	
	(14)診	*断日	✓ 0.西暦		
		N/H	1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 3. 他疾患の経過	観察中の偶然発見	-
	⑬発	見経緯	4. 剖検発見 7. 8. その他 9. 不明	West 1 -> 11-37/1/2020	
			400. 上皮内410. 限局 420. 領域リンパ節転移	430. 隣接臓器浸潤	-
進行			□ 440. 遠隔転移 □ 777. 該当せず ☑ 499. 不明		
度	①進	展度・術後病理学的	■ 400. 上皮内 ■ 410. 限局 ■ 420. 領域リンパ節転利	多 430. 隣接臓器浸潤	
	-	THE PROPERTY OF	■ 440. 遠隔転移 🔽 660. 手術なし・術前治療後 🔲 777. 該当せず	☐ 499. 不明	
	観	18外科的	□ 1. 自施設で施行 🔽 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明	月	
	血的	19鏡視下	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明	月	
- Arm	治	⑩内視鏡的	☑ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし 9. 施行の有無不明		-/
初回	療	②観血的治療の範囲	1. 腫瘍遺残なし 4. 腫瘍遺残あり ✓ 6. 観血的治療なし		ヹ行っていない場合 ・術後病理学的~ધ
治療	そ	②放射線療法	📘 1. 自施設で施行 🗸 2. 自施設で施行なし 🔲 9. 施行の有無不明	R I	すべてこのパターン
	の	②化学療法	1. 自施設で施行	A L	
	他治	绝内分泌療法	1. 自施設で施行 ✓ 2. 自施設で施行なし 9. 施行の有無不明	月	
	療	③その他治療	■ 1. 自施設で施行 🗸 2. 自施設で施行なし 📗 9. 施行の有無不明	月	
(13)	③「診断根拠」の考え方			ĺ	
	複数の検査が行われた場合は、最も確かな検査(以下の内容のうち数値が小さいもの)を診断根拠とします。				
1.原発巣の組織診 2.転移巣の組織診 3.細胞診 4.部位特異的腫瘍マーカー 5.臨床検査 6.臨床診断			6.臨床診断		
14)			断施設」が"1.自施設診断"の場合		
	_		食査の施行日を「診断日」とします。 の中で複数品度なりません。 トロロッコになった 食物を物行品	≠ =∆₩C□ ↓. ↓ · · · ·	
最も確かな検査の項目の中で複数回実施した場合は、より早い日に行った検査施行日を診断日とします。					

パターン4:自施設診断あり・自施設治療あり

〔具体例〕

- ・自施設で診断から治療まですべて行った
- ・自施設で診断し、治療はせず経過観察を開始した。

[経過例]

2022 年 3 月 19 日 市の乳がん検診で→乳房に腫瘍を指摘され自施設初診。

MRI、超音波検査と生検(組織診)施行。

2022年3月21日 生検結果にて右C領域の腫瘍と右腋窩リンパ節に転移ありと判明。

手術と化学療法を行う予定となる。

2022年3月26日 手術目的で入院。

2022年3月30日 右乳房切除術を施行。

病理結果「Invasive ductal carcinoma, solid-tubular carcinoma,

T2, 摘出された腋窩リンパ節に転移を認めます。10/20

(※20 個のリンパ節を摘出し、うち 10 個にがんの転移を確認)、

断端陰性(※切除した乳房の断端にがんが確認されなかった)」

2022 年 4 月 10 日 化学療法を開始

2022 年 4 月 28 日 経過良好で退院。



…パターン4で必ず選択する項目

腫			☑ 1.右 2.左 3.両側 7.側性なし 9.不明	
瘍の	⑨原発	大分類	乳房	
種	SM()	詳細分類	C 乳房上外側4分の1	を選択する際、当て
類	⑩病理	診断 組織型・性状	浸潤性導管癌(乳頭腺管癌、充実腺管癌、硬癌を含む) はまる選択肢がない場合は、	最も近いと思われる
	⑪診断	施設	☑ 1. 自施設診断 ☑ 2. 他施設診断 ものを選び、正確な情報を備	考欄に入力
			□ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過	
			☑ 2. 自施設で初回治療を開始	
	⑫治療	施設	□ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続	
診断			□ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 生検 (組織診) などを行	うて診断したとき
情			8. その他	こ日ではなく、検査
報	⑬診斷	根拠	▼ 1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 施行日となる。	
	(4)診断		4.部位特異的腫瘍マーカー	場合は、P4 下部の
	(単6多個)		☑ 0. 西暦 ☑ 4. 平 ☑ 5. 令 <mark> 2022 </mark> 年 <mark> 3</mark> 月 <mark> 19 </mark> 日 ■	「1.自施設診断」の
	⑬発見	経緯	4. 剖検発見 8. その他 9. 不明 場合) を参照	
			400. 上皮内 410. 限局 ✓ 420. 領域リンバ節転移 630. 194132 1841 1841 1841 1841 1841 1841 1841 184	
進	16進展	度・治療前	440. 遠隔転移 777. 該当せず 499. 不明	
行度	⑦進展度・術後病理学的		□ 400. 上皮内 □ 410. 限局 □ 420. 領域リンバ節転移 □ 430. 隣接臓器浸潤	
	少進展	浪、"例报场任子"	□ 440. 遠隔転移 □ 660. 手術なし・術前治療後 □ 777. 該当せず □ 499. 不明	
	観	®外科的	☑ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし ☑ 9. 施行の有無不明	
	血的	9鏡視下	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明	
	治	20内視鏡的	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明	
初回	療	創観血的治療の範囲	✓ 1. 腫瘍遺残なし 4. 腫瘍遺残あり 6. 観血的治療なし 9. 不明	
治療	7	2)放射線療法	1. 自施設で施行	
	の他	③化学療法	☑ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし ☑ 9. 施行の有無不明	
	治	④内分泌療法	□ 1. 自施設で施行 □ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明	
	療	多その他治療	□ 1. 自施設で施行☑ 2. 自施設で施行なし□ 9. 施行の有無不明	
⑩死亡日			□ 0. 西曆 □ 4. 平 □ 5. 令 □ □ 日 □ 日	
			病理結果:Invasive ductal carcinoma, solid-tubular carcinoma	
備考	Š		⑩病理診断で詳細な病	理結果が選べない
			場合は、備考欄に入力	
			- 物口は、油で煮して入り	2 0

パターン5:白血病・多発性骨髄腫(C42.0、C42.1)等の場合 〔具体例〕

・白血病や多発性骨髄腫など血液や骨髄のがんを診療した

〔経過例〕

2022 年 5 月 10 日 自施設初診

他施設にて慢性骨髄性白血病の治療が施行され、寛解後の経過観察 目的に紹介された。自施設で定期的に尿検査、血液検査等を実施し、 経過を見る方針とした



…パターン5で必ず選択する項目

腫	8側	性	🔛 1. 右 🔛 2. 左 🔛 3. 両側 📝 7. 側性なし 📭 9. 不明
瘍の	画	大分類 発部位	白血病、骨髄、血液
種	少床	詳細分類	白血病、骨髄(マクログロブリン血症を除く) 「C42.1
類	10病	理診断 組織型・性状	慢性骨髄性白血病 9863/3
	⑪診	断施設	□ 1. 自施設診断 2. 他施設診断
			1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
			□ 2. 自施設で初回治療を開始 骨髄検査で診断した場合は、「1. 原発巣
	12治	療施設	3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続の組織診」、それ以外の検査(末梢血)の
診断			☑ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診場合は、「3.細胞診」を選択する。
情			■ 8. その他
報	13診	断根拠	□ 1. 原発巣の組織診□ 2. 転移巣の組織診□ 3. 細胞診
			□ 4. 部位特異的腫瘍マーカー □ 5. 臨床検査 □ 6. 臨床診断 □ 9. 不明
	14診	断日	☑ 0.西暦 4.平 5.令 2022 年 5 月 10 日
	15発	見経緯	1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見
			□ 4. 剖検発見 □ 8. その他 □ 9. 不明 □ 1
進	16進	展度・治療前	□ 400. 上皮内 □ 410. 限局 □ 420. 領域リンパ節転移 □ 430 隣接腱 ^{22/2} □ 430
行			□ 440. 遠隔転移□ 777. 該当せず□ 499. 不明□ 400. 上皮内□ 410. 限局□ 420. 領域リンバ節転移□ 4□ 777. 該当せず」を選択
度	⑪進展度・術後病理学的		
		© FLY14F	
	観	18外科的	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	血的	⑨鏡視下	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
ATT.	治	⑩内視鏡的	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし 9. 施行の有無不明
初回	療	②観血的治療の範囲	□ 1. 腫瘍遺残なし □ 4. 腫瘍遺残あり
治療	そ	迎放射線療法	□ 1. 自施設で施行 ☑ 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明 れることはほとんどない
737.	の他	③化学療法	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	治	④内分泌療法	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明
	療	珍その他治療	□ 1. 自施設で施行 2. 自施設で施行なし □ 9. 施行の有無不明

ii 届出票作成時の補足資料

ii-1. 届出項目の注意事項

□ 概要

この資料は届出マニュアルの最新版に記載されていない届出項目の補足資料です。

□ 使い方

本資料の「電子届出ファイル届出項目」は項目番号と項目名からなっています。その項目の補足が記載されているので、届出マニュアルと併せてご確認ください。

ii -1. 届出項目の注意事項

電子居 中 ファイリ	届出	
電子届出ファイル届出項目	畑山 マニュアル	注意事項
8側性	P31	・ ii -2 臓器の側性コードも参照
⑨原発部位	P32	 原発 (元のがん) の部位をできるだけ詳しく届け出てください 当てはまるものが選択肢にない場合は、大まかな部位を選択のうえ、備考欄へ詳細を入力してください
⑩病理診断	P34-35	・電子届出票に直接入力またはがん登録ソフトに入力する際、当てはまるものが選択肢にない場合は、最も近いと思われるものを選び、正確な病理診断名を備考欄に入力してください <補足> P36 表の顕微鏡的(病理学的)診断とは →⑬診断根拠の「1. 原発巣の組織診」、「2. 転移巣の組織診」、「3. 細胞診」を指します
⑪治療施設	P38	 「3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続」には、経過観察の継続は含みません 「8. その他」は、死体解剖で初めて診断された場合や、セカンドオピニオン目的での受診の場合にのみ選択するため、それ以外では使用しないでください
⑬診断根拠	P39	 「5. 臨床検査」とは、血液検査、画像検査、内視鏡検査、手術の肉眼所見のことを指します 「6. 臨床診断」は「1. 原発巣の組織診」~「5. 臨床検査」の検査を行わずに医師が診断した場合に選択してください
⑯進展度・治療前	P42	・⑪診断施設「2.他施設診断」で⑫治療施設「4.他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診」の場合、「499.不明」を選択します
<初回治療> ®外科的治療~ ③その他の治療	P44-51	・"自施設で実施したか否か"で判断するため、他施設での 施行内容は選択しません
備考	P53	 氏名の漢字(外字、戸籍統一文字番号)、性別、診断後の住所異動、既往のがん、詳細な原発部位・病理診断、術前化学療法実施の有無、患者受診の経緯、剖検発見・セカンドオピニオン例、初回治療の詳細な内容(術式・薬剤名称)、再発例であるか否かなどについて記載してください。 院内がん登録実施機関(Hos-CanR Next 利用)では、項目番号 199:基本情報テキスト項目番号 999:全般情報テキストに入力してください

ii - 2. 臓器の側性コード

□ 概要

届出項目「⑧側性」の参考資料です。届出マニュアル P29 に対応しています。

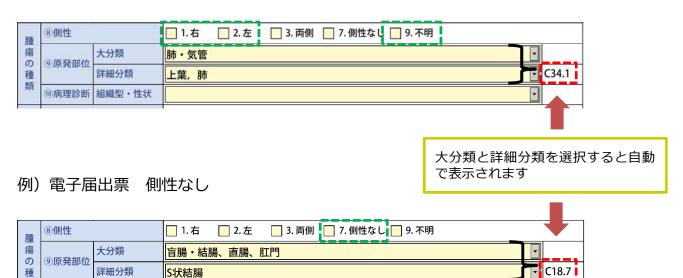
□ 使い方

⑩病理診断

組織型・性状

- 「⑨原発部位」選択時に自動で付与される局在コード(Cから始まる4
- 桁)と本資料を照らし合わせて、「⑧側性」のコードを選択してください。

例) 電子届出票 側性あり



ii - 2. 臓器の側性コード

1) 側性のある場合のコード

コード		
1	右側	
2	左側	
3	両側 ※次の場合に限って有効:両側卵巣に発生した <mark>同じ組織形態の卵巣腫瘍</mark>	
	両側腎臓に発生した <mark>腎芽腫(ウィルムス腫瘍)</mark>	
	両側網膜に発生した <mark>網膜芽細胞腫</mark>	
9	不明(側性のある臓器で左右が不明な場合、原発が <mark>正中</mark> に位置する場合)	

ICD-O-3 局在コード	局在の和名
C07.9	耳下腺
C08.0	顎下腺
C08.1	舌下腺
C09.0	扁桃窩
C09.1	扁桃口蓋弓
C09.8	扁桃の境界部病巣
C09.9	扁桃、NOS
C30.0	鼻腔(鼻、NOS C76.0 を除く)
C30.1	中耳
C31.0	上顎洞
C31.2	前頭洞
C34.0	主気管支
C34.1-34.9	肺
C38.4	胸膜、NOS
C40.0	上肢の長骨、肩甲骨及びその関節
C40.1	上肢の短骨、及びその関節
C40.2	下肢の長骨、及びその関節
C40.3	下肢の短骨
C41.3	肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節
C41.4	骨盤骨、仙骨、尾骨及びその関節
C44.1	眼瞼の皮膚
C44.2	耳および外耳道の皮膚
C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚

ICD-O-3 局在コード	局在の和名
C44.5	体幹の皮膚
C44.6	上肢及び肩の皮膚
C44.7	下肢及び股関節部の皮膚
C47.1	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系
C47.2	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系
C49.1	上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他 の軟部組織
C49.2	下肢及び股関節部の結合組織、 皮下組織及びその他の軟部組織
C50.0- 50.9	乳房(乳房の皮膚 C44.5 を除く)
C56.9	卵巣
C57.0	卵管
C62.0-62.9	精巣
C63.0	精巣上体
C63.1	精索
C64.9	腎、NOS
C65.9	腎盂
C66.9	尿管
C69.0-69.9	眼及び付属器
C74.0-74.9	副腎
C75.4	頸動脈小体

2) 側性のない場合のコード

コード	側性の詳細	
7	側性のある臓器一覧に該当しない場合 ※ <mark>原発部位不明(C80.9)の場合も適用</mark>	

※「⑨原発部位」に自動で付与された局在コードが、"側性のある臓器一覧"にない場合には、たとえカルテに左右の記載がある場合でも、側性のない場合のコードである「7」を選択してください。

ii - 3. 病理診断と進展度に関する詳細資料

□ 概要

自施設で診断や治療を行った際、カルテに記載された情報(各種がん取扱い規約、 UICCTNM 分類に基づく)から、届出項目「⑩病理診断」、「⑯進展度・治療前」、「⑰ 進展度・術後病理学的」の選択の際に参考となる資料です。

□ 使い方

がん情報サービス(国立がん研究センター)のサイトよりダウンロードが可能です (国際疾病分類腫瘍学第3版は厚生労働統計協会が発行する書籍をご利用ください) ので、届出マニュアルの⑩病理診断の説明(P34~36)、⑯・⑰進展度の説明(P21~ 23、P42~43)と併せて適宜ご利用ください。

ii-3. 病理診断と進展度に関する詳細資料

1) 病理診断

以下の資料を参考に、診療録に記載されている病理診断を選択してください。

- ・全国がん登録届出マニュアル付録 [2]
- ·国際疾病分類腫瘍学第3版
- ・部位別テキスト (国立がん研究センター提供)

2) 進展度

以下の資料を参考に、診療録に記載されている情報を読み取り、進展度を選択してください。

- ・全国がん登録届出マニュアル (P21~23、P42~43)
- ・部位別テキスト(国立がん研究センター_がん情報サービス)
- ·「進展度、UICC TNM 分類対応表(72 部位、UICC 第8 版準拠」(")
- ※「進展度、UICC TNM 分類対応表 (72 部位、UICC 第 8 版準拠)」の表の見方については、以下の例を参考にご活用ください。
 - 例)自施設で施行した CT 検査にて肺癌(T3N3M0、StageⅢC)の診断。 手術の適応はなく、自施設にて化学療法を施行。

下表にあてはめると、肺癌の T3 は"隣接臓器浸潤"に該当。 N3 は"遠隔転移"に該当。

(33) 主気管支・気管支・肺

進展度	TNM 分類
上皮内	Tis
限局	T1mi (充実成分径≦0.5cm, 病変全体径≦3cm)
	T1a (充実成分径≦1cm)
	T1b (1cm<充実成分径≦2cm)
	T1c (2cm<充実成分径≦3cm)
	T2a (3cm<充実成分径≤4cm/主気管支/臓側胸膜浸潤/肺門部までの無気肺)
	T2b (4cm<充実成分径≦5cm/主気管支/臓側胸膜浸潤/肺門部までの無気肺)
領域リンパ節転移	N1-N2
隣接臟器浸潤	T3 (5cm<充実成分径≦7cm/壁側胸膜/胸壁/横隔神経/心膜に浸潤/同肺葉の副腫瘍結
	節)
	T4(7cm<充実成分径/横隔膜/縦隔/心臓/大血管/気管/反回神経/食道/椎体/気管分岐
	部に浸潤/同側別肺葉の副腫瘍結節)
遠隔転移	N3
	Mla-Mlc

⇒複数の区分に該当する進展度の情報がある場合は、より進行している方を選択します。

[⑩進展度・治療前]:「440.遠隔転移」、[⑪進展度・術後病理学的]:「660.手術なし又は術前治療後」

- 3) 資料入手先
 - ・進展度、UICC TNM 分類対応表(72 部位、UICC 第8 版準拠)
 - ・部位別テキスト(胃・大腸・肝・肺・乳腺) https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hospital/manual.html
 - ・院内がん登録支援_"学ぶ・調べる"「7.部位別テキスト(主要5部位以外)」 https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn/

iii 届出票作成後のチェック

iii-1. 電子届出票チェックシート

□ 概要

電子届出票に直接入力する場合に不備や内容の矛盾がないか簡単に確認するためのチェックシートです。

□ 使い方

入力した症例について、不備や内容の矛盾がないかの確認にご活用ください。

iii-1. 電子届出票チェックシート

チェックすると入力できるようになります

☑ 全国がん登録届出票①									
①病院等の名称				②診療録番号~⑦診断時住所まで					
②診療録番号				75707 07 INFIX CITIZE 13:30 · C 773 ·					
③力ナ氏名				(全半角16文字) シ (全角カナ10文字) メイ (全角カナ10文字)					
④氏名				(EAN) 10XT)					
⑤性!				(全角10文字) 1. 男性 2. 女性					
	/// 年月E	1		□ 0.西暦 □ 1.明 □ 2.大 □ 3.昭 □ 4.平 □ 5.令 □ 年 □ 月 □ 日					
-	7731	1	都道府県選択						
⑦診	断時色	訓	市区町村以下	(全半角40文字)					
	8側性		1455-313% 1	1.右					
腫瘍	(94)	12	 大分類						
の	9原	発部位	スカ級 詳細分類						
種類	(10)r≢	田司令権亡	組織型・性状						
	l	断施設	业域土 111八	1. 自施設診断 2. 他施設診断 前医で決定・施行された経過観察の継					
	W 12	四川地区		続の場合は、初回治療が終了したとし					
				1. 目 自					
	⑫治	療施設		3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続					
診				□ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診					
断情	③診断根拠			8. その他					
報				1. 原発巣の組織診					
	₩			4. 部位特異的腫瘍マーカー					
	(4)診断日			1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例					
	⑮発見経緯			4. 割検発見					
	@\#		/s.走头	400. 上皮内 410. 限局 420. 領域リンパ節転移 430. 隣接臓器浸潤					
進行	⑥進展度・治療前		可療削	□ 440. 遠隔転移 □ 777. 該当せず □ 499. 不明					
度	17進	⑪進展度・術後病理学的		400. 上皮内 410. 限局 420. 領域リンパ節転移 430. 隣接臓器浸潤					
		O 61 60		440. 遠隔転移					
	観 18外科的			1.自施設で施行					
	血的	9鏡視		□ 1. 自施設で施行 □ 2. 自施設で施行なし □ 9. 初回治療は 自施設で実施した内容 を □ 2. 自施設で施行なし □ 0. 反映します					
初	治療	②内視		1. 日心放 てかり 2. 日心放 てかりなし					
回治			的治療の範囲	1. 腫瘍遺残なし 4. 腫瘍遺残あり 6. 6.					
療	そ		線療法	1. 自施設で施行					
	の他	③化学		□ 1. 自施設で施行 □ 2. 自施設で施行なし □ 9. 経過観察や緩和ケアのみを行った場					
	治療		泌療法	□ 1. 自施設で施行 □ 2. 自施設で施行なし □ 9. 合、初回治療の項目はすべて「2」を					
_		③その他治療		□ 1.自施設で施行 □ 2.自施設で施行なし □ 9. 選択します(観血的治療の範囲は「6」					
珍死:	您死亡日			□ 0.西暦 □ 4.平 □ 5.令 年 月 日					
備考			- The state of the	部位が選択できない場合、詳細な補足情報を入力していますか?					
				断報告書の詳細な補足情報は入力していますか?					
	- I			異体字や「●」に置き換えた場合、元の字の詳細を入力しましたか? に転居や改姓があった場合、新しい情報は入力しましたか?※					
				、紹介先、受診までの経緯、受診後の経緯などは入力しましたか?※					

iii-2. 届出形式の CSV ファイル作成方法

□ 概要

届出いただく CSV ファイルのデータを、届出形式(値をダブルクォーテーション ("") で囲ったカンマ区切り) にするための手順です。

□ 使い方

独自システム等をご利用の施設で届出形式の CSV ファイルを作成する際にご活用ください。

iii-2. 届出形式の CSV ファイル作成方法

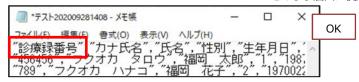
1) 各システム等より届出の CSV ファイルを作成し、届出に合う形式か確認する。

作成した CSV ファイルのダブルクォーテーションの有無を、メモ帳などのテキストエディタで開いて確認します。

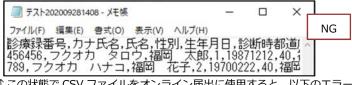
メモ帳の開き方:作成した CSV ファイル名上で右クリック⇒ [プログラムから開く] ⇒ [メモ帳] を選択

○ 形式があっている場合(値をダブルクォーテーションで囲ったカンマ区切り)

⇒このまま届出に使用できるので、電子届出ファイル (PDF) に添付して届出。



× 形式がエラーとなる場合(カンマ区切り) ⇒ダブルクォーテーションをつける作業が必要。2の手順へ。



↑この状態で CSV ファイルをオンライン届出に使用すると、以下のエラー詳細が出ます。

ファイルの先頭行から1行目にダブルクォーテーションで括られていないデータが有りました。データは数字・ 空白含めてすべてダブルクォーテーション(")で括ってください。

<注意>

Hos-CanR Lite や、院内がん登録の品質管理ツールから出力した CSV ファイルは、届出形式で出力されますが、 届出形式で出力された CSV ファイルでも、Excel で編集して保存すると、ダブルクォーテーションが消えてしま い届出に使用できなくなります。

届出データの修正をする場合は、元のシステム(Hos-CanR Lite 等)で修正し、再度 CSV ファイルを出力し直す ことをお勧めします。もし、CSV ファイルのデータを直接修正する場合は、メモ帳を開いて修正してください。

2) 出力した CSV ファイルを Excel で開き、全データに「,_」(半角カンマと半角アンダーバーなどの文字列)を付与。 ここでは、症例データが入力されているシートを「sheet1」とし、全データに「,_」(半角カンマと半角アンダーバー)を付与する 手順を説明します。

作業を間違ってしまった時の場目に、事前に CSV ファイルのコピーを取っておくことをおすすめします。

↓作業前の CSV ファイルを Excel で開いた状態

1	Α	В	С	D	E
1	診療録番号	カナ氏名	氏名	性別	生年月日
2	456456	フクオカ	福岡 太郎	1	19871212
3	789	フクオカ	福岡花	2	19700222

(ア) 症例データが入力されているシート (sheet1) を残したまま、新しいシート (sheet2) を作る。



(イ) sheet2のA1セル「=sheet1!A1&",_"」を入力。(記号・アルファベット・数字はすべて半角)



「診療録番号」の後ろに、「,」(半角カンマと半角アンダーバー)が付く

(ウ) sheet2 の A1 セルをコピーし、sheet1 のデータが入力されているセル範囲と同じ範囲すべて*に貼り付ける。



全てのデータの末尾に「,_」(半角カンマと半角アンダーバー)が付く

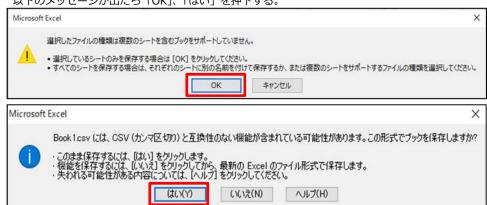
※例)sheet1 の症例データが 30 件ある場合sheet2 の A1 セルをコピーし、sheet2 の・31 行目(データ数+項目名 1 行)・29 列目(AC 列)

までの範囲に貼り付け

(工)(ウ)で作業したシート(sheet2)をCSV形式で「名前を付けて保存」する。

「名前を付けて保存」の方法: $[ファイル] \rightarrow [名前を付けて保存] \rightarrow 保存場所(デスクトップなど任意の場所)を指定 <math>\rightarrow [ファイル$ 名]; 任意のファイル名を入力 $\rightarrow [ファイルの種類]$; CSV(カンマ区切り)(*.csv) $\rightarrow [保存]$

以下のメッセージが出たら「OK」、「はい」を押下する。

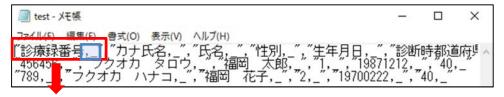


他の例:「CSV (カンマ区切り) として保存する場合、ブックの一部の機能が失われる可能性があります。この形式でブックを保存しますか?」

3) メモ帳で開き、データの後ろについた「,_」(半角カンマと半角アンダーバー)を全て置換する。 作業を間違ってしまった時のために、事前に CSV ファイルのコピーを取っておくことをおすすめします。

(ア) 2の(エ)で保存したCSVファイルをメモ帳で開く。

メモ帳の開き方: CSV ファイル名上で右クリック \rightarrow [プログラムから開く] \rightarrow [メモ帳] を選択



2の作業によって、各値がダブルクォーテーションで囲ったカンマ区切りとなっている。 これから3(イ)以降の作業により、各文字の後ろの「,_」(半角カンマと半角アンダーバー)を置換する。(青で囲われた部分)

(イ) 置換

[編集] ⇒ [置換] を選択し、「,_」(半角カンマと半角アンダーバー) を「」(文字無し) にすべて置換する。 「検索する文字列」: ,_ (半角カンマと半角アンダーバーを入力)、「置換後の文字列」: 空白⇒「すべて置換(A)」押下



iv 届出エラーの対応

iv-1. オンラインシステムへのアップロード・エラー確認手順

□ 概要

全国がん登録オンラインシステムで届け出る施設向けの届出および届出エラーデータ の確認手順です。

□ 使い方

手順に沿って全国がん登録症例を提出してください。

全国がん登録オンラインシステムでは、エラーチェック機能が実装されており、がん 情報等の内容の矛盾についてもチェックがかかります。

【対象施設】: 電子届出ファイルに CSV ファイルを添付して届け出る施設

エラーが出たときは、本手引き 27ページのiv-2.「届出エラー一覧」を参照し、データを確認後、正しく修正してください。

- ※【対象施設】以外の届出はエラーチェックがかかりませんので、内容に矛盾等が 生じた場合は、がん登録室から問合せを致します。
- ・オンラインシステムに関することで不明な点は、以下までお問合せください。

国立がん研究センター・

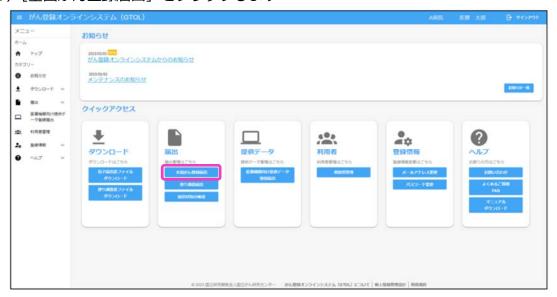
がん登録オンラインシステム専用問合せフォーム: https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create

- □全国がん登録届出ファイルアップロード方法
- ※VPN接続により、医療機関オンライン接続サービスにログインした後の流れです。
- ※2023 年 5 月 31 日より新たな「がん登録オンラインシステム」の利用が開始されています。旧オンラインシステムご利用の機関は、新たにセットアップを行ってください。

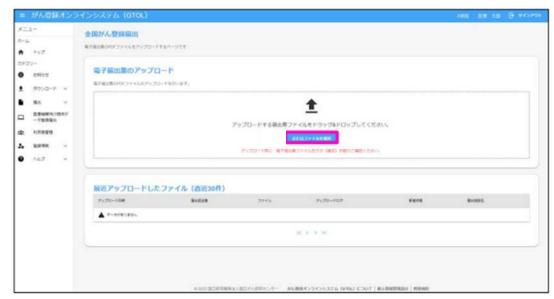
「がん登録オンラインシステム」のページ

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/hospital/e-rep/online.html

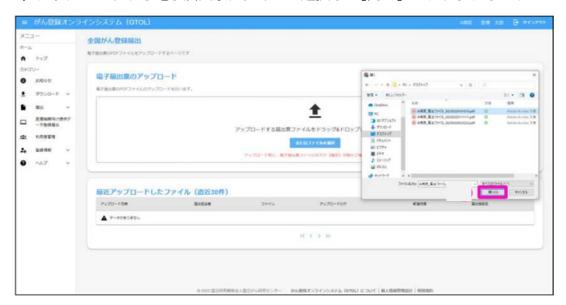
1) [全国がん登録届出] をクリックします



- 2) 【全国がん登録届出】画面が表示されます。
- ▼ファイル選択でのアップロードする場合 [またはファイルを選択] をクリックします。



3) アップロードする電子届出票ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



4)【電子届出票のアップロード】画面が表示されるので、[アップロード] をクリックします。



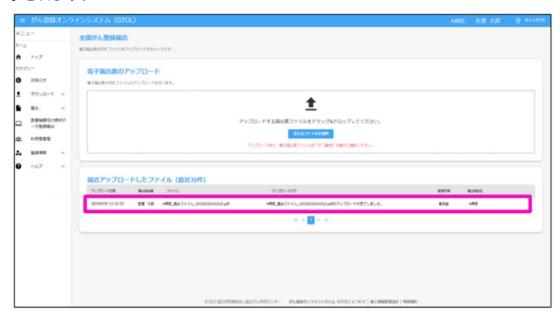
4) 「アップロードが完了しました。」と表示されます。 [ページに戻る] をクリックし、画面を閉じます。



- ※アップロード完了後、必ず【届出状況の確認】画面にて、エラーがないか確認してください。エラーとなった場合、【届出状況の確認】の表内にある[詳細]を押して、エラーの内容を確認してください。
- ※新がん登録オンラインシステムでは、アップロード後、セキュリティ上の検査およびファイル内容のチェックには2時間程度かかります。

6)【全国がん登録届出】画面に戻ります

[最近アップロードしたファイル] に、アップロードした電子届出票ファイルが表示されます。



項目	説明
アップロード日時	ファイルをアップロードした日時が表示されます。
届出担当者	アップロードした利用者氏名が表示されます。
ファイル	アップロードした電子届出票ファイル名が表示されます。
アップロードログ	アップロード結果が表示されます。
都道府県	ファイルを作成した医療機関の都道府県名が表示されます。
届出施設名	ファイルを作成した医療機関名が表示されます。

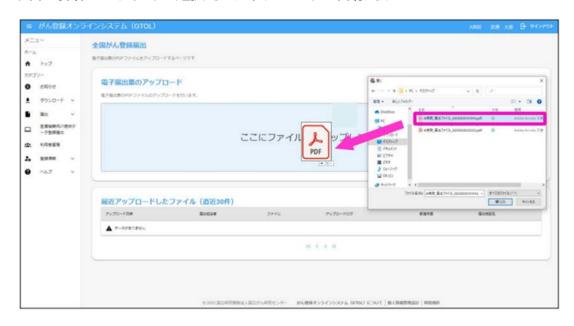
電子届出票ファイルのアップロードが完了すると、次の件名のメールが届きます。

件名:がん登録オンラインシステム【GTOL】電子届出票ファイルアップロード完了のお知らせ

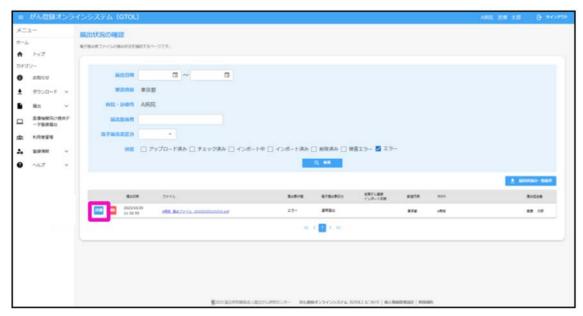
※届出状況の確認についての詳細は、医療機関向けマニュアル「4章 全国がん登録への届出」の『4.1.5 届出状況の確認』を参照してください。

▼ドラッグ&ドロップでアップロードする場合 アップロードしたいファイルを左クリックでドラッグし、[電子届出票のアップロード] の枠内でドロップします。

以降の操作は、ファイル選択でのアップロードと同様です。



- □全国がん登録届出工ラーデータの確認方法 アップロード後の届出状況に「エラー」と表示された場合は、エラーの詳細を確認します。
- 1) エラーとなったファイルの [詳細] をクリックします



2) 【届出票詳細確認】画面が表示されるので、エラー内容を確認します。



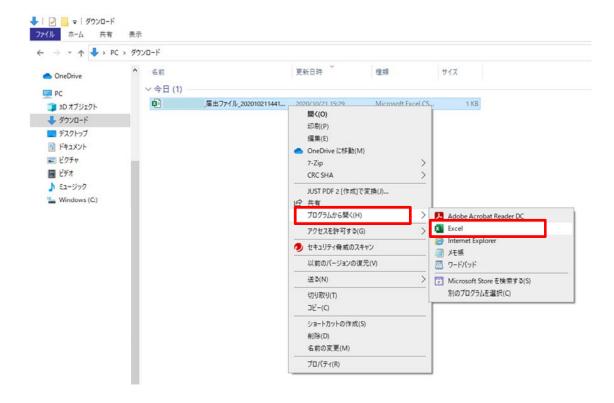
3)右側にある〔エラーリストのダウンロード〕をクリックします。エラー内容を CSV ファイルに出力可能です。



4) 指定したフォルダに出力された CSV ファイルを Excel で開きます。

方法:ダウンロードした CSV ファイル名上で右クリックし、〔プログラムから開く〕>〔Excel〕をクリックします。

または、ダウンロードした CSV ファイル名上でダブルクリックします。



エラーリストは以下のとおりです。



エラー行番号、エラー列番号、エラーコード、エラー内容の4つを確認してください。

◆エラーリスト項目内容について

【エラー行番号】: 届出した CSV ファイルのうち、エラーに該当したデータ行です。

項目名を1行目と数えます。

【エラー列番号】: エラーに関連する届出項目(下表参照)を番号で表示したもので

す。

列番号	項目名
1	診療録番号
2	カナ氏名
3	氏名
4	性別
5	生年月日
6	診断時都道府県コード
7	診断時住所(詳細)
8	診断日 (起算日)
9	発見経緯
10	診断施設
11	治療施設
12	原発部位・局在コード
13	原発部位・テキスト
14	側性
15	進展度・治療前

列番号	項目名
16	進展度・術後病理学的
17	病理診断・形態コード
18	病理診断・組織型テキスト
19	診断根拠(全経過)
20	外科的治療の有無
21	鏡視下治療の有無
22	内視鏡的治療の有無
23	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲
24	放射線療法の有無
25	化学療法の有無
26	内分泌療法の有無
27	その他の治療の有無
28	死亡日
29	備考

【エラーコード】: エラー内容を分類したコードです。

【エラー内容】: エラー内容の詳細です。

5) エラーリストの内容を基に、エラー該当者のカルテ情報を再度確認した上で、がん登録ソフト(Hos-CanR Lite等)に登録されているデータを修正します。 ※エラーはすべて修正してください

- 6)再提出用のデータ(CSV ファイル)を、がん登録ソフト(Hos-CanR Lite 等)から再度出力し、電子届出ファイル(PDF)に添付し直します。
- 7) 再度。「□全国がん登録届出ファイルアップロード方法」の1) から行います。 これをエラーがなくなるまで繰り返します。

iv - 2. 届出エラー一覧

□ 概要

この資料は国立がん研究センター作成のマニュアル「4章付録_全国がん登録への届出 付録 インポートエラー一覧」に当室で加筆したものです。

データの不備や内容に矛盾があり、届出エラーが発生した場合の修正・対応方法が 記載されています。

□ 使い方

オンラインシステムのアップロードの際、または当室からお問い合わせを受けた際 にご活用ください。

iv - 2. 届出エラー一覧

形式エラー

エラー詳細	修正・対応方法
ウイルスに感染しています。	ウイルス感染していないことを確認し、再度アップロードしてください。※検疫エラーとなった ファイルは、自動的に削除されます。
届出票が確定されていません。電子届 出票の確定ボタンを押して保存してく ださい。	電子届出票ファイルを開き、申出書の確定操作(右下の確定ボタンクリック)してください。確定操作を完了した電子届出票ファイルを再度アップロードしてください。
CSVファイルが添付されていません。 CSVファイルを添付し、再度アップ ロードしてください。	アップロード頂いた電子届出票ファイルの申出書の届出種別に「CSVファイル添付」はチェックされていますが、添付がありません。CSVファイルを添付した電子届出票ファイルを再度アップロードしてください。
ファイル先頭行から●行目にダブル クォーテーションで括られていない データが有りました。データは数字・ 空白含めてすべてダブルクォーテー ション(")で括ってください。	CSVファイルでのデータ提出時には、各項目の値(値空白を含むすべて)をダブルクォーテーションで括る必要があります。 例)"診療録番号","カナ氏名","氏名"、・・、"死亡日","備考""131301000100","ツキジテスト","築地てすと"、・・、"","転院"該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。 【注意事項】CSVファイルをExcelで編集して保存しますと、ダブルクォーテーションが消えたり重複して付与されたりし、アップロード時にエラーとなります。CSVファイルの修正が必要な場合、メモ帳等のエディタを使用ください。
ファイル先頭行から●行目の列数が● 列でした。提出項目はカンマ(,)区切 りで29列にしてください。	CSVファイルのデータは、各項目をカンマ(,)で区切り、1行の項目数が29個である必要があります。項目区切りがカンマ区切りかどうか、文字型項目の中に余分なカンマ(,)が含まれていないか確認してください。 該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。
●列目のヘッダが不正です。 ● ●または▲ ▲ という文字が含まれている必要が有ります。	CSV1行目(ヘッダ)の項目には所定の文字列を含む必要があります。 該当箇所のヘッダを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。
ファイル先頭行から●行目の●列目の データが不正です。「○○○」	該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。 ※「○○○」に具体的なエラー内容が表示されます。 例)数字型で入力してください。数字型項目に数字以外の文字列が含まれています。数字のみとしてください。 例)●文字以内で入力してください。文字数制限が定められた項目に超過した文字列が入力されています。文字数の確認と修正をしてください。
ファイル先頭行から●行目●列目の値が空白です。必須項目のため正しく入 カしてください。	必須項目には、値が設定される必要があります。 該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。
「ファイル先頭行から●行目●列目が存在しない日付です。正しい日付を入力してください。」	該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。
「ファイル先頭行から●行目●列目は 日付形式(YYYYMMDD)で入力して ください。」	※「○○○」に具体的なエラー内容が表示されます。例)数字型で入力してください。数字型項目に数字以外の文字列が含まれています。数字のみとしてください。例)●文字以内で入力してください。文字数制限が定められた項目に超過した文字列が入力されています。文字数の確認と修正をしてください。

項目間エラー

「				l=
エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法	届出マニュアル 該当ページ
OL_E3002	氏の部分が全角ハイフン「-」以外(全 角マイナス「-」、全角ダッシュ 「」、長音「」)になっています。	漢字氏	全角マイナス「-」、全角ダッシュ「一」、長音「一」いずれか1文字が入力されています。氏が不明の場合、全角- (ハイフン)の一字のみ入力します。	P27
OL_E3003	名の部分が全角ハイフン「-」以外(全 角マイナス「-」、全角ダッシュ 「」、長音「」)になっています。	漢字名	全角マイナス「-」、全角ダッシュ「一」、長音「-」いずれか1文字が入力されています。名が不明の場合、全角- (ハイフン)の一字のみ入力します。	P27
OL_E3004	生年月日の値がアップロード日より未 来になっています。	生年月日	生年月日に、届出票のアップロード日現在よりも未来の日付が入力されています。生年月日の入力が正しくありません。	P29
OL_E3008	診断日が完全不明日付になっていま す。	診断日	診断日に"9999/99/99"、"9999/mm/99"、"9999/99/dd"、"9999/mm/dd"のいずれかが入力されています。診断年9999 (不明) の届出はできません。少なくとも診断年を推測して入力してください。	P40
OL_E3011	死亡日が完全不明日付になっていま す。	死亡日	死亡日に"9999/99/99"、"9999/mm/99"、"9999/99/dd"、"9999/mm/dd"のいずれかが入力されています。死亡年9999 (不明)の届出はできません。死亡年月日が不確かな場合は入力不要です。	P52
OL_E3012	死亡日が非完全不明日付になっていま す。	死亡日	死亡日に"yyyy/mm/99"、"yyyy/99/dd"、"yyyy/mm/88"、"yyyy/88/dd"、"yyyy/99/99"、"yyyy/88/88"のいずれかが入力されています。死亡年月日が不確かな場合は入力不要です。	P52
OL_E4001	生年月日の値が死亡日より未来になっ ています。	生年月日、死亡日	生年月日に死亡日より未来の日付が入力されています。生年月日、死亡日のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P29 P52
OL_E4004	原発部位・局在コードと側性のパター ンの組み合わせが不正です。	側性、原発部位・ 局在コード	側性"3"(両側)は原発部位・局在コードが"C569"(卵巣)、"C649"(腎臓)、"C69_"(眼)の場合のみ適用できます。側性、原発部位のどちらか又は両方の入力が正しくありません。側性"3"(両側)の適用部位以外の原発部位の両側に届出対象のがんが独立して認められる場合は右・左それぞれのがんについて届出を作成してください。原発の側性が不明な場合は、側性"9"(不明)を入力してください。	P31 P32
OL_E4005	原発部位・局在コードと進展度・治療 前のパターンの組み合わせが不正で す。	原発部位・局在 コード、進展度・ 治療前	進展度・治療前"777"(該当せず)は、原発部位・局在コード"C420"(血液)または"C421"(骨髄)の場合のみ適用できます。原発部位、進展度・治療前のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P32 P42 進展度の詳細 はP21-23
OL_E4006	原発部位・局在コードと進展度・術後 病理学的のパターンの組み合わせが不 正です。	原発部位・局在 コード、進展度・ 術後病理学的	進展度・術後病理学的"777"(該当せず)は、原発部位・局在コード"C420"(血液)または"C421"(骨髄)の場合のみ適用できます。原発部位、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P32 P43 進展度の詳細 はP21-23
OL_E4009	診断根拠と病理診断・形態コードのパ ターンの組み合わせが不正です。	診断根拠、病理診 断・形態コード	診断根拠(全経過) "4"(部位特異的腫瘍マーカー)は、病理診断・形態コードの先頭4文字が"8170"(肝細胞癌)、"9100"(絨毛癌)、"9500"(神経芽腫)、"9732"(多発性骨髄腫)、"9761"(ワルデンストレームマクログロブリン血症)の場合のみ適用できます。上記以外の病理診断・形態コードで、診断根拠"4"の場合は、診断根拠"5"(臨床検査)を入力してください。	P34-35 P39
OL_E4010	性状コードと進展度・術後病理学的の パターンの組み合わせが不正です。	病理診断・形態 コード、進展度・ 術後病理学的	病理診断・形態コードの5文字目(性状コード)が"3"(浸潤癌)の場合は、進展度・術後病理学的"400"(上皮内)ではありません。性状コード、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P34-35 P43 進展度の詳細 はP21-23

項目間エラー

現日间上 T				
エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法	届出マニュアル 該当ページ
OL_E4012	観血的(外科的・鏡視下・内視鏡的) 治療の範囲、性状コードと進展度・治 療前のパターンの組み合わせが不正で す。		治療の範囲が"6"(観血的治療なし)かつ病理診断・形態コードの5文字目(性状コード)が"2"(上皮内癌)の場合、進展度・治療前が"400"(上皮内)又は"499"(不明)のみ適用できます。治療の範囲、性状コード、進展度・治療前のいずれか又は複数の入力が正しくありません。	P42, 47 進展度の詳細 はP21-23
OL_E4013	観血的(外科的・鏡視下・内視鏡的) 治療の範囲、性状コードと進展度・治 療前のパターンの組み合わせが不正で す。		治療の範囲が"6"(観血的治療なし)かつ病理診断・形態コードの5文字目(性状コード)が"3"(浸潤癌)の場合、進展度・治療前"400"(上皮内)は適用できません。治療の範囲、性状コード、進展度・治療前のいずれか又は複数の入力が正しくありません。	P42,47 進展度の詳細 はP21-23
OL_E4014	治療施設と進展度・術後病理学的のパ ターンの組み合わせが不正です。	治療施設、進展度・ 術後病理学的	治療施設が"1"(自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明)または"4"(他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診)の場合、進展度・術後病理学的は"660"(手術なし又は術前治療後)または"777"(白血病又は多発性骨髄腫)です。治療施設、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P38, 43 進展度の詳細 はP21-23
OL_E4015	治療施設と外科的治療の有無、鏡視下 治療の有無、内視鏡的治療の有無、放 射線療法の有無、化学療法の有無、内 分泌療法の有無、その他治療の有無の パターンの組み合わせが不正です。	治療施設、〇〇治療 の有無	治療施設"1"(自施設で初回治療をせず、他施設に紹介または その後の経過不明)または"4"(他施設で初回治療を終了後 に、自施設に受診)または"8"(その他)の場合、外科的治療有 無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無、放射線療法 の有無、化学療法の有無、内分泌療法の有無、その他治療 の有無はすべて"2"(自施設で施行なし)です。治療施設、○ ○治療の有無のどちらか又は両方の入力が正しくありませ ん。	P38, 44-51 初回治療の 詳細はP20
OL_E4016	生年月日の値が診断日より未来になっ ています。	生年月日、診断日	生年月日に診断日より未来の日付が入力されています。生年月日、診断日のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P29 P40
OL_E4017	診断日の値がアップロード日より未来 になっています。	診断日	診断日に、届出票のアップロード日現在よりも未来の日付 が入力されています。診断日の入力が正しくありません。	P40
OL_E4018	診断日の値が死亡日より未来になって います。	診断日、死亡日	死亡日に診断日より未来の日付が入力されています。死亡 日、診断日のどちらか又は両方の入力が正しくありませ ん。	P40 P52
OL_E4019	発見経緯が4(剖検発見)の場合は、 死亡日は必須項目です。	発見経緯、死亡日	発見経緯が"4"(剖検発見)かつ死亡日が空白です。発見経緯"4"は、届出対象のがんが死亡後に行われた剖検で発見された場合に適用します。発見経緯又は死亡日のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P41 P52
OL_E4020	発見経緯と観血的(外科的・鏡視下・ 内視鏡的)治療の範囲と進展度・術後 病理学的のパターンの組み合わせが不 正です。		発見経緯が"4"(剖検発見)以外かつ治療の範囲が"6"(観血的治療なし)の場合、進展度・術後病理学的は"660"(手術なし・術前治療後)又は"777"(該当せず)が適用されます。発見経緯、治療の範囲、進展度・術後病理学的のいずれか又は複数の入力が正しくありません。	P41 P43 P47 進展度の詳細 はP21-23
OL_E4021	外科的治療の有無、鏡視下治療の有 無、内視鏡的治療のパターンの組み合 わせが不正です。	外科的治療有無、鏡 視下治療の有無、内 視鏡的治療の有無、 治療の範囲	・外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無のいずれかが"1"(自施設で施行)の場合、治療の範囲"6"(観血的治療なし)は適用できません。 ・外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無がすべて"2"(自施設で施行なし)の場合、治療の範囲"6"(観血的治療なし)のみ適用できます。 ・外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無がすべて"9"(施行の有無不明)の場合、治療の範囲"9"(不明)のみ適用できます。 ・外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無がすべて"1"(自施設で施行)以外の場合、治療の範囲"1"(腫瘍遺残なし)、"4"(腫瘍遺残あり)は適用できません。外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無、治療の範囲のいずれか又は複数の入力が正しくありません。	P44-47

項目間エラー

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法	届出マニュアル 該当ページ
OL_E4022	死亡日の値がアップロード日より未来 になっています。	死亡日	死亡日に、届出票のアップロード日現在よりも未来の日付が 入力されています。死亡日の入力が正しくありません。	P52
OL_E4024	原発部位・局在コードと診断根拠のパ ターンの組み合わせが不正です。	原発部位・局在 コード、診断根拠	原発部位・局在コードが"C809"(原発部位不明)かつ診断根拠が組織診の場合、診断根拠(全経過)は"2"(転移巣の組織診)を適用します。原発部位・局在コード、診断根拠のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P32 P39
OL_E4025	性状コードと進展度・術後病理学的の パターンの組み合わせが不正です。	病理診断・形態	病理診断・形態コードの5文字目(性状コード)が"2"(上皮内癌)の場合は、進展度・術後病理学的"410"(限局)~"440"(遠隔転移)は適用できません。性状コード、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P34-35 P43 進展度の詳細 ぱP21-23
OL_E4028	生年月日と診断日の差が120年以上に なっています。	生年月日、診断日	診断時年齢が120歳を越えています。診断日、生年月日のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P29 P40
OL_E4029	診断日と死亡日(死亡日が空白("")の場合はシステム日付)の差が120年以上になっています。	死亡日、診断日	死亡時年齢又は届出時年齢が120歳を超えています。死亡日、 診断日のどちらか又は両方の入力が正しくありません。	P40 P52
OL_E4030	生年月日と死亡日の差が120年以上に なっています。	生年月日、死亡日	死亡時年齢が120歳を越えています。生年月日、死亡日のどち らか又は両方の入力が正しくありません。	P29 P52

v 福岡県がん登録室からの問合せ

v-1.届出情報のチェック項目一覧

□ 概要

iv - 2. 「届出エラー一覧」に掲載されていない項目で、登録室から問い合わせや修正報告を行う頻度が高いものを掲載しています。

□ 使い方

当室から問い合わせを受けた際にご活用ください。

v – 1.届出情報のチェック項目一覧

No	届出項目	チェック項目	対処方法	届出マニュアル 該当ページ
1	⑧側性⑨原発部位・局在コード	側性のある臓器で「7」を選択、また、側性のない臓器で 「1」、「2」、「3」、「9」を選択。	側性又は局在コードを確認し修正する。 ii-2「騰器の側性コード」を参照。	P31 P32
2	⑨原発部位・局在コード	がん・悪性腫瘍等の発生した原発部位テキストの内容と局在 コードが矛盾	原発部位テキストに入力された部位と、局在コードを選択時に表示される内容を確認し、差異がある場合は修正する。例): テキストに「膀胱後壁(C67.4)」、コード「C67.2 (膀胱側壁」) ※選択したい部位が表示されない場合は、臓器名等を大まかに選択し、備考に詳細を記入	P32
3	(10)病理診断・形能コード(前から4桁)	がん・悪性腫瘍等の組織型について、組織型テキストの内容と 形態コードが矛盾	組織型テキストに入力された内容と、形態コード選択時の内容を確認し、差異がある場合は修正する。 ※選択したい診断名等が表示されない場合は、「悪性腫瘍 (8000/3) 」を選択し、備考に詳細を記入	P34
4	(13)診断根拠	白血病、多発性骨髄腫の診断に用いた検体が、骨髄ではなく末 梢血の場合に、診断根拠「5. 臨床検査」を選択している。	・白血病、多発性骨髄腫と診断される根拠となった検査に用いた検体が末梢血の場合 ・診断施設にかかわらず、診断根拠についての情報がない。 →診断根拠「3.細胞診」に修正。	P39
5	⑫治療施設	診断施設が「2. 他施設診断」かつ 治療施設が「4. 他施設で初回治療を終了後に自施設に受診」 の場合、進展度・治療前が「499. 不明」以外を選択。	進展度・治療前は「499.不明」に修正する。 ※前医からの紹介状等により、進展度に関する情報が判明していても、このルールを適用。 (ただし、白血病、多発性骨髄腫の場合を除く)	P37 P38 P42
6	・初回治療の有無	診断施設が「2. 他施設診断」かつ 治療施設が「3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診 して初回治療を継続」かつ初回治療項目が全て「2. 自施設で 施行なし」を選択。		P44-51
7	②治療施設	治療施設が「8.その他」	治療施設が「1」~「4」に当てはまらないか確認する。 ※「8. その他」は、死体解剖で初めて診断された場合や、 セカンドオピニオン時に選択するため、それ以外では使用しない。	P38
8	③診断根拠	診断根拠が「6. 臨床診断」	「1.原発巣の組織診」~「5.臨床検査」に当てはまらないか確認する。	P39

vi 各種問合せ先など

全国がん登録制度に関すること

□福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課 電話:092-643-3317

届出票作成・提出に関すること

■福岡県がん登録室(九州がんセンター) 電話:092-557-6114(直通)(9:00~16:00)

※届出票記載内容の修正については、必ずお電話にてお願いいたします。

オンラインシステムに関すること

◆国立がん研究センター がん登録オンラインシステム専用問合せフォーム: https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create

提出物の郵送先

〒811-1395

福岡県福岡市南区野多目3丁目1番1号 福岡県がん登録室(九州がんセンター内)宛